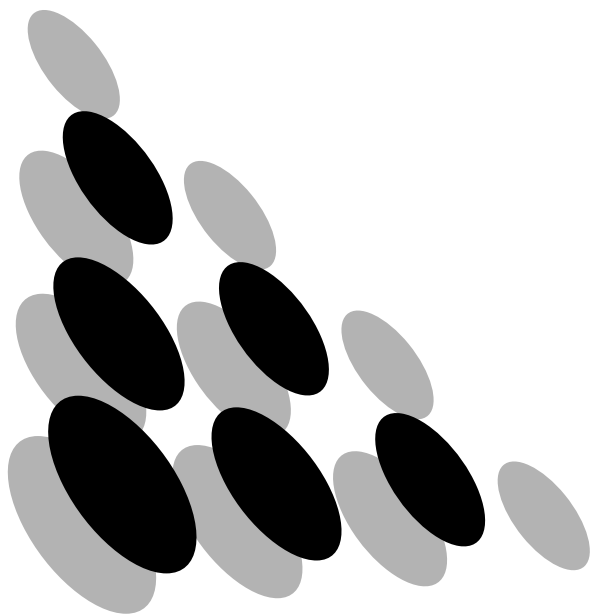


CELSIUS WORKSTATION

内蔵DATユニット (CLEDT11/CL2DT11)

取扱説明書



はじめに

DAT(Digital Audio Tape)ドライブ DDS3 は DDS1/DDS2/DDS3 のすべての DDS(Digital Data Storage)カセットに対応するドライブです。DDS カセットは大容量記憶装置としては安価なデータバックアップ装置です。

DAT ドライブは従来の装置および標準フォーマットで記録する他のメーカーの装置との互換性があります。DAT ドライブの圧縮には DCLZ(Data Compression Lempel Ziv)方式を採用しています。

長さ 60m, 90m の DDS カセットには DDS-1 フォーマット(標準 DDS フォーマット)で記録されます。長さ 120m の DDS カセットには DDS-2 フォーマットで記録され、長さ 125m のデータカセットには DDS-3 フォーマットで記録されます。

DAT ドライブは SCSI-2 インタフェースを採用していますので接続する際に SCSI カードが必要となります。また、適切な SCSI ドライバをインストールしなければなりません。

本書は、DAT ドライブのインストール方法、使用方法について説明しています。

ご使用になる前に

本製品を取り付けにはハードウェアの知識が必要です。ワークステーション添付のオペレーションガイド「安全上のご注意」をよく読み、指示を守るようにしてください。

万一、問題が発生した場合は、おそれいりますが、担当員にお申しつけください。

詳細について


本製品の取り付け方法の詳細はワークステーション添付のオペレーションガイドをご参照ください。

SCSI カードについては、SCSI カード添付のオペレーションガイドまたはワークステーション添付のオペレーションガイドをご参照ください。


SCSI ドライバ、バックアップソフトウェアについては、ソフトウェア添付の説明書をご参照ください。

表記について

本書で使用する絵記号と字体には次の意味があります。

- 「 **注意**」この表示のついた説明には特に注意してください。この警告を無視して誤った取り扱いをすると人が障害を負う可能性があること、システムを破壊またはデータが破壊される可能性があることを示しています。
- 「**i** **ポイント**」この表示のついた説明には補足、注釈などが記述されています。
- >この表示のついた説明には手順を遵守しなければならない作業が記述されています。
- 「引用符」で囲まれている文は章名、ディスク、用語を示しており、強調文字で記述されています。


安全にお使いいただくために

 **注意** 本章では、DAT ドライブを安全にお使いいただくための基本的なことがらについて説明しています。

本製品はオフィス環境で使用するための電子機器を含むデータ処理装置に関する安全法規に準拠しています。不明な点ございましたら、おそれいりませんが、担当営業員までお申しつけください。

- 消費電力および環境条件に注意してください。詳細はワークステーション添付のオペレーションガイド「安全上のご注意」を参照してください。

本製品の取り付けの手順

 **注意** ワークステーション添付のオペレーションガイド「安全上のご注意」をご参照ください。

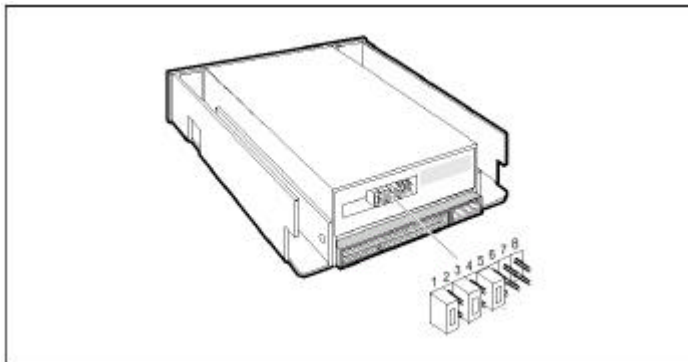
本製品の取り付けは下記の手順で行います。

- ジャンパの設定(SCSI ID、終端抵抗などの設定)
- ワークステーション本体への取り付け
- ケーブルの接続
- ソフトウェアの設定

SCSI カードを使用する際に必要なデバイスドライバはワークステーション本体添付のドライバーズ CD に含まれています。

ジャンパの設定

ジャンパスイッチは本製品の背面にあります。



⚠ 注意 ジャンパ 6 は予約されていますので、必ずショートに設定してください。

SCSI ID の設定(ジャンパ 1～3)

DAT ドライブの SCSI ID の初期値は 5 となっています。すでに SCSI ID が 5 の装置をご使用の場合、ジャンパ 1～3 で SCSI ID を変更しなければなりません。

ジャンパ 1	ジャンパ 2	ジャンパ 3	SCSI ID
ショート	ショート	ショート	ID = 7
ショート	ショート	オープン	ID = 6
ショート	オープン	ショート	ID = 5*
ショート	オープン	オープン	ID = 4
オープン	ショート	ショート	ID = 3
オープン	ショート	オープン	ID = 2
オープン	オープン	ショート	ID = 1
オープン	オープン	オープン	ID = 0

*初期設定：SCSI ID = 5

システム起動時のデータ圧縮モードの設定(ジャンパ 4)

ショート	圧縮無効
オープン	圧縮有効*

*初期設定：圧縮有効

i **ポイント** ソフトウェアの設定により圧縮/非圧縮の設定ができます。

SCSI パリティの設定(ジャンパ 5)

ショート	パリティ有効*
オープン	パリティ無効

*初期設定：パリティ有効

終端抵抗の設定(ジャンパ7)

ショート	終端抵抗あり*
オープン	終端抵抗なし

*初期設定：終端抵抗なし

- i **ポイント** 本製品が SCSI バスの最後に取り付けられている場合、終端抵抗ありに設定しなければなりません。他の装置が本製品の後に取り付けられている場合、ジャンパ7をオープンにして終端抵抗なしに設定しなければなりません。(ジャンパ7のピンは初期状態では片方のみ挿し込まれています。このピンを両方に挿し込むことで終端抵抗ありに設定することができます)

終端電力の設定(ジャンパ8)

ショート	終端電力をドライブから供給
オープン	終端電力を SCSI バスから供給*

*初期設定：SCSI バスから電力を供給

- i **ポイント** 常にオープンに設定してください。

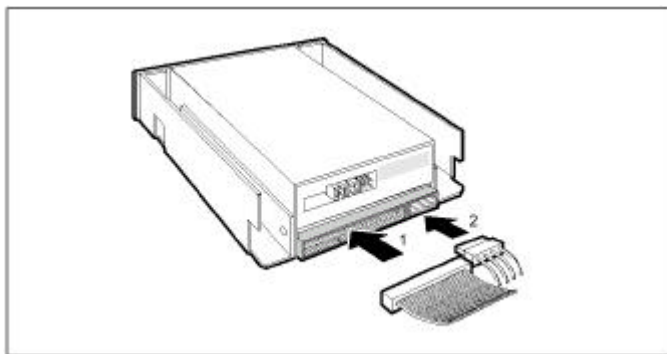
本体への取り付け

本製品は 5 インチハーフ高さスロットに取り付けます。取り付ける際、取り出しボタン等が下側になるようにしてください。

- ワークステーション添付のオペレーションガイド「内蔵オプションの取り付け」にしたがって取り付けてください。

ケーブルの接続

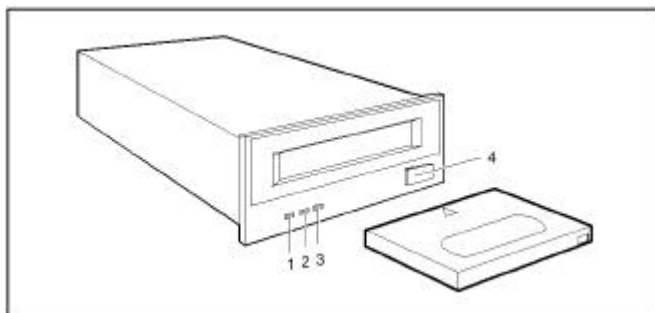
本製品の背面には下記のようなコネクタがあります。



1: 電源コネクタ 2: 50 ピン SCSI コネクタ

- 50 ピン SCSI ケーブルをコネクタ 1 の SCSI インタフェースに差し込みます。このプラグには、逆挿し防止用のピンがついています。
- 電源ケーブルをコネクタ 2 の電源ソケットに差し込みます。

各部の名称



1: 動作(BUSY)ランプ 2: テープ(TAPE)ランプ

3: ステータス(STATUS)ランプ 4: 取り出し(EJECT)ボタン

DAT ドライブの前面にあるランプはドライブの状態を示しています。各ランプはドライブの状態により、点灯、点滅、消灯します。

ランプについて

ランプの意味

ランプ	BUSY	TAPE	STATUS
消灯	アクセスしていません	カセットが挿入されていません	
点灯	SCSI アクセス中です	カセット挿入されています	書き込み禁止になっています
高速点滅 (0.25 秒点灯, 0.25 秒消灯)	ドライブアクセス中です	カセットはロード/アンロード中です	クリーニングテープが使用済みです
低速点滅 (3.5 秒点灯, 0.5 秒消灯)		エラーレートが高いことを示します (警告)	クリーニングが要求されています
1 回点滅	初期化待ち状態です	排出待ち状態です	
2 回点滅			自己診断に失敗しました

通常使用時のランプの状態

状態	BUSYランプ	TAPE ランプ	STATUS ランプ
ドライブが未使用	消灯	消灯	消灯
SCSI コマンド実行中	点灯	消灯	消灯
カセットをロード/アンロード中	高速点滅	高速点滅	消灯
書き込み禁止カセットをロード/アンロード中	高速点滅	高速点滅	点灯
クリーニングカセットが使用済み, クリーニングカセットの交換要求	消灯	点灯	高速点滅
(書き込み可能な)カセットがロード完了		点灯	消灯
SCSI コマンドが実行中 (カセットがロード済み)	点灯または高速点滅	点灯	
書き込み禁止のカセットがロード完了		点灯	点灯
カセット排出待ち状態 (イジェクト)		一回点滅	

エラー発生時のランプの状態

状態	BUSYランプ	TAPE ランプ	STATUS ランプ
エラーレートが極めて高くなっています。カセットを交換してください		低速点滅	
クリーニングが必要です			低速点滅
自己診断中にエラーが発生しました			2 回点滅
SCSI リセット待機状態です (装置の電源を切断してください)	1 回点滅		

取り扱い上の注意

装置の取り扱いについて

⚠ 注意 本製品は精密機器ですので、以下のことに注意してください。

- 装置内にデータカセットを入れたままにしないでください。データカセットの寿命が極端に短くなったり、装置が故障する原因となります。データカセットは、バックアップ処理の開始に先立ちセットし、バックアップ処理完了後はすみやかに取り出してください。
- クリーニングカセットによる磁気ヘッドの定期的なクリーニングを必ず実施してください。磁気ヘッドのクリーニングに関する詳細は本書「クリーニングについて」をご参照ください。
- 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないでください。
- 衝撃や振動の加わる場所での使用は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 内部に液体や金属などの異物が入った状態で使用しないでください。万が一、異物が入ったときは、営業担当員にご相談ください。
- ワークステーション本体の電源を切断するときは、必ずデータカセットを取り出してください。本製品前面の汚れは、やわらかい布で乾拭きするか布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは避けてください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままご使用になると本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があった場合は、1時間以上待ってから電源を投入してください。
- お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

データカセットの取り扱いについて

本製品には、下記のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	備考
データカセット DAT CT12000	0121180	12GB(125m テープ)
データカセット DAT CT4000	0121160	4GB(120m テープ)
データカセット DAT CT2000	0121150	2GB(90m テープ)
データカセット DAT CT1300	0121110	1.3GB(60m テープ)

データカセットは特別なメンテナンスは必要ありませんが、以下のことに注意してください。

⚠ 注意 高温な場所や直射日光のあたる場所は避けてください。

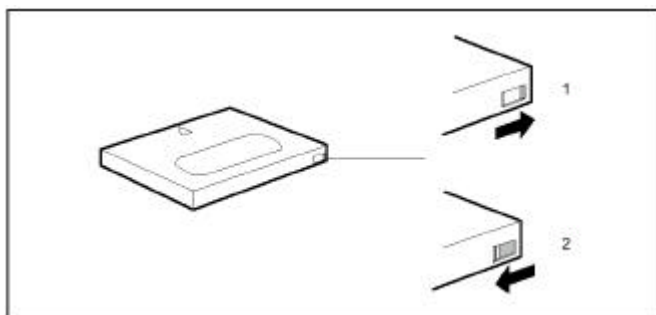
- 湿気が多い場所での保管，使用は避けてください。
- 磁気のある場所には近づけないでください。
- 新しいデータカセットは一度テープの最後まで進め，巻き戻してからご使用ください。その後，クリーニングカセットでドライブをクリーニングしてください。
- データカセットにアクセスしているときは，ワークステーションの電源を切断したり，データカセットを取り出さないでください。
- 磁気テープには触らないでください。保護シャッターは閉じていなければなりません。
- ラベルを貼付するときは，専用のラベルを所定の位置に貼り付けるようにしてください。

書き込み防止爪について

書き込み禁止にすることで，データカセットのデータを誤って上書したり，消去してしまうことを防止できます。

データカセットが書き込み禁止になっている場合，システムはデータの読み込みのみ可能です。書き込み，消去はできません。

書き込み禁止にするには，データカセットの書き込み防止爪をスライドさせてください。



1: 書き込み可能 2: 書き込み禁止

データカセットの挿入

データカセットはラベル面を上にして挿入してください。

- ドライブが自動的にロードされるまでカセットを押してください。

データカセットの取り出し

⚠ 注意 アクセス中はデータカセットを取り出さないでください。

- 取り出しボタンを押し，データカセットを排出します。
- データカセットをドライブから取り出します。

⚠ 注意 データカセットが排出されない場合はワークステーションの電源を5秒以上切断し，もう一度電源を投入してください。その後イジェクトボタンを押してもデータカセットが排出されない場合は弊社保守員までお申しつけください。

クリーニングについて

データアクセス時にエラーを発生させないよう、DAT ドライブの読み出し/書き込み用磁気ヘッドを定期的にクリーニングしなければなりません。読み出し/書き込み用ヘッドのクリーニング周期は、データカセットの使用回数で決まります。

一日の使用本数	クリーニングの周期
1本	1週間に1回
2本	1週間に2回
3本	1週間に3回
4本以上	毎日

⚠注意 定期クリーニング以外に、ステータスインジケータが遅く点滅している場合にもクリーニングを行ってください(本書「エラー発生時のランプの状態」をご参照ください)。

DAT ドライブ専用のクリーニングカセットをご使用ください。また、クリーニングカセットは決して巻き戻さないでください。

1本のクリーニングカセットで最大50回のクリーニングが可能です。使用済みのクリーニングカセットは再利用しないでください。

- DDS クリーニングカセットをドライブに挿入します。ドライブは自動的にクリーニングカセットをロードし、読み出し/書き込みヘッドをクリーニングします。その後、自動的にカセットが排出されます。
- クリーニングカセットの使用日をクリーニングカセットのラベルに記録し、使用回数の管理を行ってください。

⚠注意 読み出し/書き込み中にエラーレートが極めて高くなり、テープランプが低速点滅することがあります。読み出し/書き込み用磁気ヘッドにほこりがついていいる可能性がありますのでクリーニングを実施してください。

クリーニングを実施してもテープランプが再び点滅する場合、データカセットが損傷している可能性があります。データを新しいデータカセットにコピーしてください。(その後、古いデータカセットは使用しないでください。)

磁気ヘッドのクリーニングには下記のクリーニングカセットをご使用ください。

品名	商品番号
クリーニングカセット DAT-N	0121170

仕様

記憶容量	12GB(125m テープ使用時)	
インタフェース	SCSI-2	
実効転送速度	1.2MB/sec(非圧縮時)	
温度	使用時	15 ~ 35 (結露しないこと) 1 時間に 10 以上変化しないこと
	運搬時	-25 ~ 60
消費電力	通常	6.8 W
	最大	10.5 W
重量	840g	
外形寸法	146.0(W) × 41.2(H) × 150.0(D) mm	

CELSIUS WORKSTATION
内蔵DATユニット（CLEDT11/CL2DT11）
取扱説明書
P3FY-0430-01

発行日 2000年6月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。